

総合基礎科目	協働的医療実践の基礎					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	相互扶助論 I (共同的活動演習) Mutual Aid I					
担当教員	◎都築英明 稲本俊 金井恵理 曾山奉教 山本佳世子					
目的	相互扶助の歴史や概念を学び、「助け合うこと」「支援すること」「協働すること」の意義を理解する。相互扶助の考えを深めるために地域社会で行われている相互扶助についてのフィールドワークを行い、人を支える活動を通して、自らも成長することを学ぶ。					
目標	<p>人間社会において相互扶助がどのように存在してきたのかの歴史と制度を学ぶ。1年次配当科目で習得したことや課題について、学生が主体的にテーマに沿った調査を行う。1年次の大学生同士を主とした活動体験から、さまざまな年齢層や生活の背景をもった人が集まるコミュニティー活動に場を広げ、コミュニケーション、合意形成のプロセス等、協働しチームで活動することについて、より発展的な学習を目指す。この科目を通して、各々の能力を再確認、発見、育成し、社会・組織の構成員同士が互いに助け合うことを学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相互扶助の歴史と概念を述べるができる。 2. 「助け合うこと」「支援すること」「協働すること」について理解する。 3. 相互扶助についての調査を通して、相互扶助のあり方について考察する。 					
他科目との関連	人間関係とコミュニケーション					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	指定されたレポートの評価				
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	なし					
参考資料	<p>ピョートル・クロポトキン「増補修訂版 相互扶助論」同時代社 2012 広井 良典「コミュニティを問いなおす一つながり・都市・日本社会の未来」筑摩書房 2009 エドガー・H・シャイン「人を助けるとはどういうことか 本当の「協力関係」をつくる7つの原則」英治出版 2009</p>					
備考 (受講上注意、事前学習等)	eラーニングシステムを利用するので、ネットワーク設定および電子メール設定をしておくこと					